

リズムとメロディの多様性から生まれるコミュニケーション！ リズム＆ブームワッカー

リズム＆ブームワッカーは、パーティの余興や30分～1時間程度の時間で気軽にできるコミュニケーションのワークです。ブームワッカーと呼ばれる色とりどりのパイプを叩くと、音階の違う音が出ます。そのパイプを皆が持って、ファシリテーターがサポートしながらリズムを創っていくと、不思議な一体感が生まれます。その中で感じられるのは、それぞれの個性、多様性、コミュニケーションのあり方などなど。運営には1960年代から世界中に広がった「ドラムサークル」と呼ばれる手法が応用され、楽しいだけではなく、様々な気づきを生む時間を創ります。



こんな状況の時に／こんな目的で

■大人数のパーティーの中で皆が一体感を感じられるようなことをやりたい！

参加者がバラバラになりがちなパーティーでも、リズムを使って主体性を引き出し、一体感を創り出します。

■オフサイトミーティングで難しいことを話す前に、頭を活性化させて臨みたい！

皆が一体感や、コミュニケーションの多様性を感じた後なら、議論も会議も話し合い方が変わってきます。

対象者 部署全体、会社全体

人数 15～600人

時間 30分～1時間

会場 屋外、研修室など（※音の出せる会場）

プログラム進行例

時間	内容
13:00 (5分)	導入 プログラムの目的や流れの確認を行う。
13:05 (15分)	コミュニケーションワーク 音や体、声などを使い、表現をテーマとしたワークを行う。
13:20 (20分)	リズム＆ブームワッカー ブームワッカーを使い、全員でリズムを創る。コミュニケーションワークで感じたことも音に変わり、不思議な一体感が生まれる。
13:40 (20分)	リフレクション(振り返り) 体験したことの感想や気づきなどを全員で共有する。
14:00	終了



お問合せ先